

# 世界史からみた

# 山陰の

# 縄文時代

写真／智頭町智頭枕田遺跡

縄文時代は、世界史的には新石器時代ですが、その特徴である農耕や牧畜がありません。縄文時代・縄文文化は、実はとてもユニークな存在なのです。世界史の中の「縄文文化」、縄文文化の中の「東と西」を見ていくと、「山陰の縄文」はどんな風に見えるのでしょうか。縄文時代の集落や墓制研究の第一人者である山田康弘氏が紐解きます。

2 / 28 日

- 会場／鳥取県立博物館 2階講堂
- 講演時間／午後2時～午後3時30分
- 定員／230人（先着順）

※聴講無料、申し込みは不要  
※手話通訳・要約筆記・託児をご希望される場合は2月7日（日）までにお問い合わせください。

講師 山田 康弘 氏  
国立歴史民俗博物館 教授

《講師プロフィール》

1967年東京生まれ。筑波大学大学院博士課程歴史人類学  
研究科中退。博士（文学）。熊本大学文学部助手、土井ヶ浜  
遺跡・人類学ミュージアム学芸員、島根大学法文学部教授を  
経て、現在は国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学教授。  
《著書》  
『生と死の考古学—縄文時代の死生観—』（東洋書店）  
『老人と子供の考古学』（吉川弘文館）  
『縄文人がほくの家にやってきたら?!』（実業之日本社）  
『つくられた縄文時代』（新潮社）

お問い合わせ 鳥取県立博物館 学芸課 人文担当  
電話 0857-26-8044  
〒680-0011 鳥取市東町2丁目124